

介護保険と 障害者自立支援の

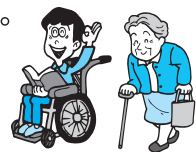
審査会

平成21年度

当組合では、有明圏域2市4町共同で行う、介護認定審査会と障害者自立支援審査会の開催・運営に関する業務を行っています。平成21年度の介護認定審査会については、*経過措置が設けられたため、審査結果の件数ではなく、経過措置適用後の件数を表示しています。

介護認定審査会

《開催数327回》



() 内は20年度比

市町名	荒尾市	玉名市	玉東町	南関町	長洲町	和水町	広域計
人口	56,456 (-125)	70,835 (-537)	5,707 (+54)	11,048 (-79)	17,051 (+20)	11,708 (-112)	172,805 (-779)
高齢者人口 (65歳以上)	15,658 (+146)	19,434 (+148)	1,738 (+46)	3,622 (+1)	4,396 (+42)	4,088 (-33)	48,936 (+350)
高齢者比率	27.73% (+0.32)	27.43% (+0.41)	30.45% (+0.52)	32.78% (+0.24)	25.78% (+0.22)	34.91% (+0.05)	28.31% (+0.33)
認定実人数	3,084 (+73)	3,860 (+115)	323 (-2)	683 (+20)	842 (+27)	836 (+44)	9,628 (+277)
非該当	35	42	0	10	4	1	92
要支援1	497	620	57	153	97	88	1,512
要支援2	454	654	46	99	135	116	1,504
要介護1	854	912	73	142	171	183	2,335
要介護2	484	582	55	102	121	152	1,496
要介護3	341	433	49	62	120	104	1,109
要介護4	341	365	30	47	105	86	974
要介護5	239	263	32	57	67	67	725
再調査	2	1	0	1	0	0	4
審査件数 合計	3,247 (-262)	3,872 (-205)	342 (-23)	673 (-43)	820 (-52)	797 (-33)	9,751 (-618)

予防給付

介護給付

*経過措置…平成21年4月～9月までの更新申請者については、申請者の希望に応じ、審査・判定された要介護度が従前の要介護度と異なる場合に、従前の要介護度とします。

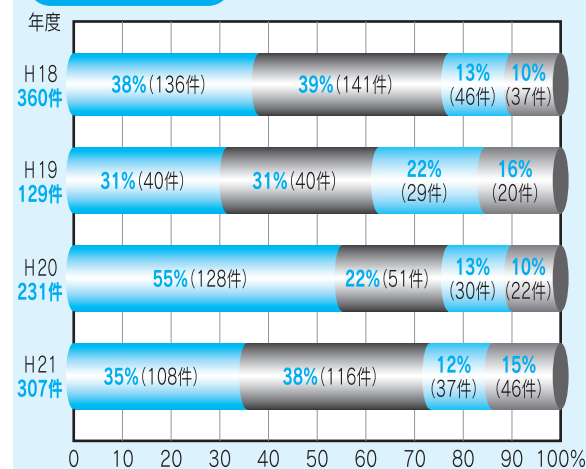
障害者自立支援審査会

《開催数24回》

区分の数字が高くなるほど、より重度になります。

障害別審査割合

身体 知的 精神 重複



障害程度区分の審査判定結果件数

	身体	知的	精神	重複	合計
非該当	0	0	0	0	0
区分1	12	14	4	1	31
区分2	16	23	14	4	57
区分3	16	40	17	5	78
区分4	15	26	0	7	48
区分5	18	11	1	8	38
区分6	31	2	0	21	54
再調査	0	0	1	0	1
合計	108	116	37	46	307

(平成22年3月31日現在)

《項目別状況》

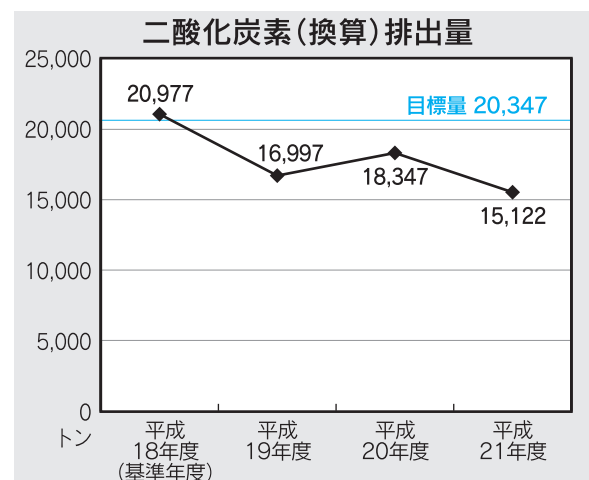
※平成18年度（基準年度）比較

温室効果ガス排出項目	増減量	増減率
ガソリン	△1,368 L	△2.7%
灯油	130,626 L	19.3%
軽油	△1,181 L	△4.1%
A重油	11,443 L	3.5%
LPG	237 kg	4.6%
電気	29 kwh	0.0%
廃プラスチック類	△2,716トン	△48.8%
自動車走行	△17,755 km	△4.6%
廃棄物焼却	△1,361トン	△5.6%
し尿処理	△1,836m³	△5.0%
省資源・リサイクル項目	増減量	増減率
用紙 [A4換算]	△228,311 枚	△28.2%
水	△3,624m³	△4.1%
廃棄物	△2,009 kg	△20.0%

※数値は四捨五入しています。

《温室効果ガス（二酸化炭素換算）総排出量》

	基準年度（平成18年度）		平成21年度	
二酸化炭素(CO ₂)	20,491トン	97.68%	14,659トン	96.94%
メタン(CH ₄)	59トン	0.28%	57トン	0.38%
一酸化二窒素(N ₂ O)	427トン	2.04%	406トン	2.68%
総排出量	20,977トン	100%	15,122トン	100%
削減量			5,855トン	
削減率			27.91%	



例えば、ごみ処理施設で燃やしているごみ、その中でも約3分の1を占めている生ごみ。これをもっと減らすことができれば、焼却による排出量が減るだけでなく、ごみ処理に必要な灯油・A重油・LPG・電気などの量も減らすことができます。

組合では、生ごみの水気を切ることに他には、生ごみの堆肥化や廃プラスチック類の分別・リサイクル、使用済み用紙の裏面使用や封筒などの再利用後のリサイクルなど、ごみとして出さないことを心がけ、平成21年度は廃棄物を20.0%削減できました。今後もこれ以上に削減できるように、取り組みを進めていきます。

ストップ・ザ・温暖化

第2期

《ごみを減らす意識》

ごみを減らす意識